DIALOG(R) File 351: Derwent WPI (c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

002075502

WPI Acc No: 1978-88578A/\*197849\*

Highly enzymatically active syoyu koji prepn. - by adding bean curd waste or its decomposition prod. to syoyu koji raw material

Patent Assignee: AJINOMOTO KK (AJIN )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 002

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week
JP 53124693 A 19781031 197849 B
JP 81009904 B 19810304 198113

Priority Applications (No Type Date): JP 7739118 A 19770406

Abstract (Basic): JP 53124693 A

Prepn. comprises adding bean curd refuse or its decomposed prod. to the material for syeyu koji. In an example, bean curd refuse is added in amt. of 2% in soy bean and until 20% its effect is proportional to the amt. of bean curd refuse. Usually bean curd refuse is added prior to the inoculation of seed koji either by adding it with water in the form of suspension or stgeaming it separately and mixing it with soy bean. Now joji mould grows rapidly and excellent koji can be obtd. in 37 hrs. The obtd. koji shows protease activity 1.2-1.8 times and peptidase activity 2-3 times those of conventional koji.

Sycyu koji obid. shows extremely high enzymic activity (peptidase activity) and with it the seasoning soln, having high free amino acid

content can be obtd. more rapidly.

Title Terms: HIGH; ENZYME; ACTIVE; SYDYU; KOJI; PREPARATION; ADD; BEAN;

CURE; WASTE; DECOMPOSE; PRODUCT; SYDYU; KOJI; RAW; MATERIAL

Derwent Class: D13; D16

International Patent Class (Additional): A23L-001/23; C12G-003/02

File Segment: CPI

Manual Codes (CPI/A-N): D03-F06

## 19日本国特許庁

可特許出願公開

# 公開特許公報

昭53 124693

51 Int. CL? C 12 G = 3 02 識別記号: 1 0 6 52日本分類 3655 A 31 万百整理番号 7167—49 B 公開 - 昭和53年(1978)10月31日

発明力数 1 審香請求 未請求

- 全 3 以 -

54	正油麴製麴	方法
----	-------	----

20特 順 昭52 39118

22出 願 昭52(1977) 4 月 6 日

72発明者片岡二郎

横浜市港北区新吉田町1959 58。

同 瀬戸首

藤沢市亀井野922

同 斉藤好夫

用崎市多摩区作田9485

元矣 明 者 阿部正

横浜市旭区善部町5番地

- 同 - 温崎與

田町市高ヶ坂1631 5

- 月日 - 願: 人・味 ク素株式会社:

東京都中央区京橋。丁目5番8

15

#### igi Mai is

1.免助の名称 平油穀製料を法

#### 2.時計請求の範囲

特相知の数例は正於で、おから又はおからの 中細胞を輸出することを特徴とする契相動の製 独立

#### 1. 强则的钴矿左腔明

- 本知明的do n のたれ方部額がい製物は信候する

「おおの動品をは、原わりの形形水・高数上」とおお称動を発育し、地方・よんした小学を担う・またがし、とう。またでで同体作者。如此くて衛生しめて軽さ納を作り(おか)、これをは 歩水を付込んであり月から約1年に機能・熱応 (高級)するととはより配面されている。

この報報の観光に於て、始も取扱なことは、いかにして品質の良い純を作るかということであり、同じ無道食品であるみそ、指摘は製麴量の原料に対する制合が20~30%程度であるのに対し、製油は全量を輸化する必要があり、

強補の場合には、強い結合地も無の取ぶ結件以 かんによって応報の収率、分加率、早無性、ア ミノ他の用称化及びかり発生がた無性などの變 労が決定されるといつでもからではない。 久頼 強動の動動は、旋込みから出着すでにしまでは テの時間を放ししわゆる4日無と称されるゆえ くであったが、惟合機材を風影をあたの事人に より40~48旬にではなができっよりになり、 転動時間の割めにかなわれている。

1 かしながら、製物の触角には原子で全体や4 かれるもの、などすると、 (集のの) 年、 人口なりではないである。 かできれる。

タはおからの分割やを確認するととはよりを東 《新月月职 电下枢 表价性 沟领 小貂 经链 果本亚酚 明机次表示中心之上加力并大。

みもめでもからと粉しているのは大口、筋脂 大いから毎白笋をき、てくえり、女にプロテア セなどの酵素で抽出した大つの蛋白色出処績 をはい、わかりの分解物では、かかりをプログ アニャ、セルフーセ、アンダーマからの勝声で さらに加水分削したもりを言う。

おとら名はおから分の物の部で的場合数を手 料中で活れ、いつでも対例はよる点が変を抜神 する中に稼物配合するもかがある大きく、私有 用のさじせれして加えるか、わからのみ先に益 流して低跌飛台時間を加いみ時に近加級合する ととが望ましい

おからの鈴加油は原料を基 対し2条以上加 える必要があり、208までは添加量に比例し て酵素治性が増大し、数額時间も短縮される。 2.0 %以上は難雨の崩みの生育が早いため契約 の質用に多少の技術が要求される。

タ - "市性の著しく強いので、これを各種の事。 自領に作用せしめれば、アミノ飲液を製造する。 ことができる。大豆蛋白に対しては数を1.0 20~加えこれを15%以下の乗塩水に仕込み 勝為が解すれば1を月以口に延珠力の強いアミ イ敵が映放を待ることができる。 以下上無例にて詳細に記事する。

J. 19 8 1

- 敖烈大只300m松刻上で、日乳蛋后斑仔剛 作为企作和性理价度逐渐发展的工具的专家编辑 朝)を由合し、これにもロロイの水を指水谷。 120℃で20分組品をした。それ何対して新 取截6.切用。割翻【左小为2.50020市販恤 金,スリーダ1や鹵(い、かもやし补熱)を加 关,进行一遍又兴电,30℃的该仍温度で期度 し、エュ手人、共2年人を行つて製鋼した。出籍の プロテアーセ抗性。ベブチダーゼ抗性及び出熱 6 6 0 旬至2 2 3 列烟炒食温水ঘ性达分常从区 低いすり同制解系成して行られた生態醬油ジグ ルコミン酸遊離率,可俗化率を調べた。

おからしみでは野餐は比点であるが、おからに 動解小變や動などを適量はたして影響した難は。 機削物としては適当といえないが。 ベアチダー 七代性が著しく強く、数年よりも数据の高性を 有し、ペプチダーゼ製造には適している。

本発明の製麴医は、おから及はせい公同物を 予加工程即に短期する他は回角の装制など全く 至りなく付かわれ、本気はい新から関係原する 力鉄により、従来の截に比べフロデア・ゼ括件 が 1.2 ~ 1.8 倍 - ペプチ エード精性が1 ~ 3 倍 「「物力」な相称をを行るて時間で目納まること ができかようになった。

- 左発明の 万族で付しれる鬱油鬱を従来仏画り 食塩水に仕込み、樹醇・細胞せしめれは、収率。 **層味はもとより、5 味性アミノ酸の遊離率が高** く、知じてルタミン師の返離率 (O\*/TN)が80 %均 上の証拠性の強い品質の優れた生装醤油が 得られる。

- 本発生の方法で行りれる数、辨におからと数 又は告節小麦で製動した短は酵素活性(ペプチ

結果は衣一工に示した。

表一1 おからの症肌効果

	<b>對劉時間(時間)</b>			世典の貯業活性		生揚分析值	
	<b>与</b> 手丛。	#12 fts!	、出务	プロデアーゼ (4・4)	ベブデターゼ (UD/g)	OH/IN (%)	治解利 用率(%)
知 [] (] (] (] (] (] (] (] (] (] (] (] (] (] (	16.5	2 4					
かからかなべ	13.2	20	38	2650	260	0.79	92

なお、このむ中のプロテアーデ活性はミルク カゼイツ(pH 2.0)を基興とする Ansion… 取筋 Pagint ひてかくし、ペプセダーセ格特は、ロイ ジンデラルトに イードを振れたする日という ・パテニといういいではではかしたものである。 1 160 5

リギング側はよいおから30分(水分で6名) と37日ものかに散機し、これはマセドサーム (近畿サグルト行製、50戸を加え40℃で 2.0 時間衝光分解を行い、60℃に加熱後、と 打香肝脏气日300~44亿约一亿散布1.120 じて20分削蒸棄処理し、割砂小麦290kgを 加え、実施例1と回称常法に従って穀糧後、食

1, 点代为此人,不生核酶结系物产。出触动酶水值 mhora - Stormar, 28 of t

1 - 14 日本自己在本加州的新加州

各种时候(时期) | 新沙维生物性(1609) 生物分析值(160) - エ<sub>1</sub>コノー21人 田**知** フロア モーツチチ ヒー巴 (中 田澤)(6) 30 m 50 L 10 5 2 05 44 1800 110 0.70 89  $g_{3}/g_{3}/f_{3} = 1.28 - 1.000 - 3.7 - 3.35 \cdots - 3.20 - 0.8.2 - 9.1$ 

### 11 1-5-3

表加作30种(新绘版中)至38(形状在 がし、ボーコドル中名松い川県街老剛を答5 O チに加し、行務まの主派 pil, 鶴田で 2.0 時間幣 た反比を行つた。これを3.0 ㎏のか服大兒に敷 がし、実施例1と回核化磁パパし、**転職で45** 時間製製した。指約の修す循件によっる紹示し

> 公厕所以前的城市,其前上九月为15回条函行 十、項以權勢を按析し、42時間數衡した。と のも々、年白概を2倍に勝和した後に120℃ 3.6分别加强,上大春经期采,咨与农食宿食 15叉放佐が歴して再合し、30℃で20日间 新支分解・PV酵せもめた。これを肚搾計率して 2801の記録性の近い報酬行政保証を得た。 この頃の学表収度は92%で粕毎は38と少く 医成性素摄解疗养 20 5

> > 上前国际人 网络英巴式公科

表一 a - 柳米斯州(产加公司) 据识额等

3."			N: #	街 性
悔 本 名	<b>解本</b> 人力。	#ं क्ष (PD	プロップ・セ(ログ)	~\J4"-H(OB/Y)
	大野野老	07-27	3250	2.2.0
当:17・十	九 お れ 一	~	3190	258
オルフ・ゼ	JUNEAU Z	"	3 2 5 0	3 3 6
マセロチール	ngs yet By ∰	5 20 51 M 1608	3300	268
モルジン		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3 0 0 0	250
アマノ・ヤ	大野製作		2300	230
a-アミラーゼ	"		2260	232
オープミラーセ	,,		1860	1.2.0
無務如此	-		2539	258
好加持格加			2339	

# (\* 修孝未処理おから使用)

### 更施例 4

脱胴大豆100㎞を6倍量の水化物液し、市 **収度素料アップニャ(大野製業製中料プロテア** ゼ190000/p) 15 Wを数据し、45 C.pH 70で4時間抽出後に圧搾分離して水分70% の利35向と銀臼独出被を御た(とい点で称と 蛋白液の窒素分配比は20:80である)。 と の約15㎞を120℃30分離救於伶却し、予